「大学間連携共同教育推進事業」中間評価結果

連携の種類	地域連携	整理番号	２２
取組名称	産学公連携によるグローカル人材の育成と地域資格制度の開発		
連携校 ※下線は代表校	京都府立大学、京都産業大学、京都文教大学、佛教大学、龍谷大学		

（総括評価）

Ａ：計画どおりの取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を達成することが期待できる。

［コメント］

本取組は、参加大学と地元経済団体とが協力し、地域社会を支える公共マインドと、グローバル経済に対応するビジネスマインドを兼ね備えた人材の育成を目的としている。

教育改革については、PBL（課題解決型学習）やアクティブラーニングを活用し、実践的な力を付ける取組を行うとともに、地域公共人材開発機構による認証システムの運用やアウトカム評価を通じて厳格な質保証が行われるなど、学部レベルの教育を実践的な観点から改革しようとする試みとして着実に進展しており、評価できる。

ステークホルダーとの協働・評価については、わかりやすさの追求、サポート体制の整備、ノウハウの蓄積等を図るため、新たな資格制度を創設するとともに、実施組織であり支援機能を有する NPO 法人を設立して本取組を実施している。外部評価が適切に実施されており、評価結果を踏まえた取組の改善への対応が図られている点は評価できる。

取組の実施体制・継続発展については、NPO 法人による資格制度を運営する枠組みが確立するとともに、各大学の取組を支援する仕組みが用意されており、今後の発展が期待できる。